

庁内に眠るファイルを“使えるナレッジ”へ

ローカルAIで進めるファイル整理と業務改善、
データ利活用の新しいアプローチ

procureTech StorageManager 説明資料

2026年5月29日

川口弘行合同会社

自己紹介

川口 弘行(かわぐち・ひろゆき)

博士(工学) 技術経営修士(専門職) 総務省地域情報化アドバイザー
公認情報システム監査人(CISA) 行政書士 ITコーディネータ
認定スクラムマスター(LSM) 認定プロダクトオーナー(LSPO)
専門分野: 電子政府・電子自治体、オントロジ、情報社会学



2009年4月	高知県庁 専門企画員(CIO補佐官)
2013年4月	港区情報政策監
2013年4月	経済産業省CIO補佐官
2015年4月	佐賀県庁 情報企画監
2017年12月	川口弘行合同会社 設立 代表社員
2019年4月	佐賀県唐津市情報政策アドバイザー
2021年7月	静岡県湖西市DX推進アドバイザー

2022年4月	秋田県DX推進アドバイザー
2022年4月	静岡県富士市情報政策アドバイザー
2023年4月	越谷市最高デジタル責任者(CDO)
2023年4月	秋田県能代市CIO補佐官
2023年5月	静岡県牧之原市CIO補佐官
2023年5月	宇都宮市DX専門官
2024年6月	山梨県丹波山村CIO補佐官
2025年7月	鹿児島県奄美市DXアドバイザー

エグゼクティブサマリー

庁内に眠る“埋もれた知恵”をどう掘り起こすか

- 混沌としたファイルサーバを一掃し、
業務改革の原動力となるナレッジ基盤をつくる。

ローカルAI を用いた StorageManager を活用した
自治体業務の将来像と、その考え方をわかりやすく解説します。

活用方法

庁内ファイルサーバ整理に 生成AIを使う



よく見かける風景

- ファイルサーバの使用量が常にいっぱいいっぱい
- 個人名のフォルダや個人名がついたファイルがある
- ～(1).docx とか、～_原本.docx とか、～(最終).docx とか、～_backup.docx とか
～_1219.docx とか、～_ver1.2.docx とか、そんなファイルが混在している
- 出所不明の名簿がExcelファイルで存在している
- 部署によってフォルダ構成がマチマチ

セキュリティ対策の一環で...

- 「端末内にファイルを置かない」「USB媒体をデータ保存に使わない」という流れになっているが、



ファイルサーバは
ごみ箱じゃないよ！

データと情報の違い

データ

客観性を持った事実に基づく値の列記



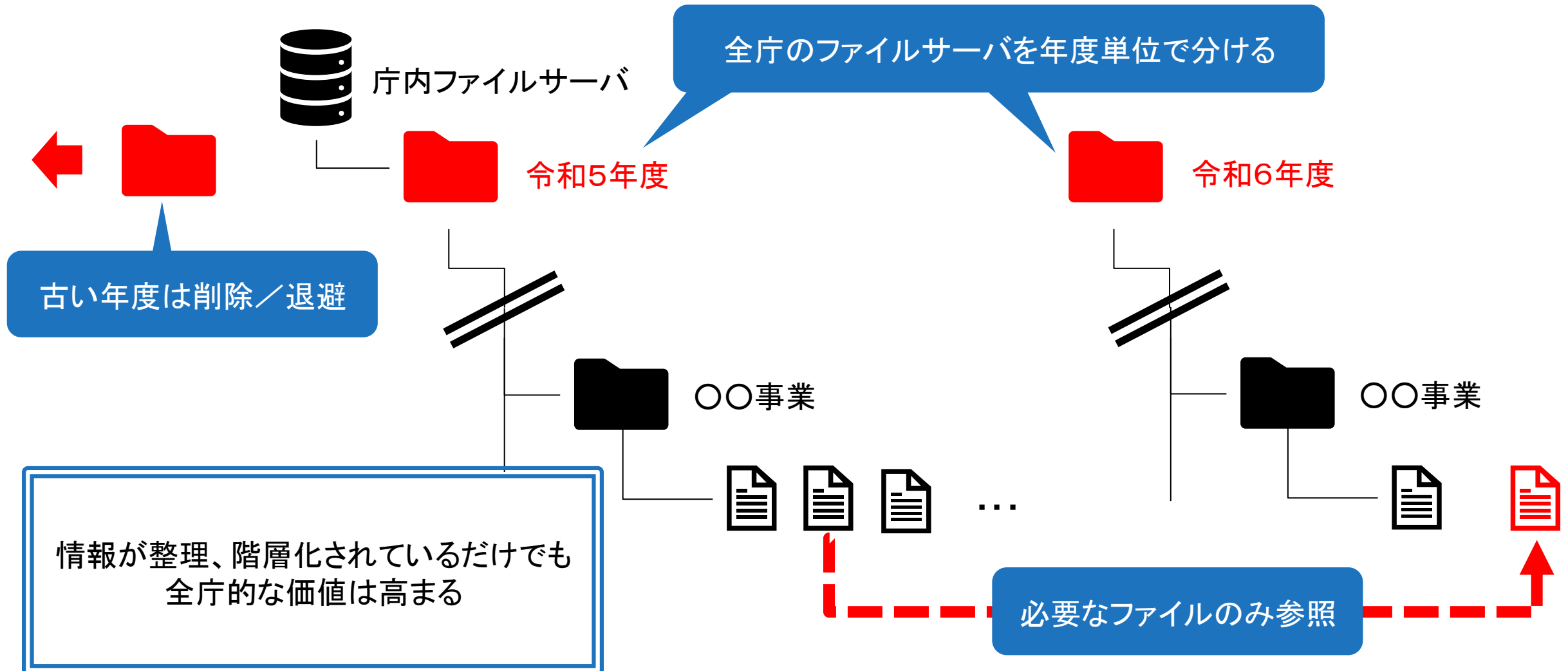
意図を持って編集・加工

情報

庁内には「情報」は多くあるが、
「データ」は少ない？

※いきなり「情報」を生成している

情報をデータに近づける(ファイルサーバの整理)



誰がどんなデータを持っているのか知っていますか？

- 言い換えれば、
 - どこがどのような事業をやっているのか
 - どこがどのようなシステムを運用しているのか

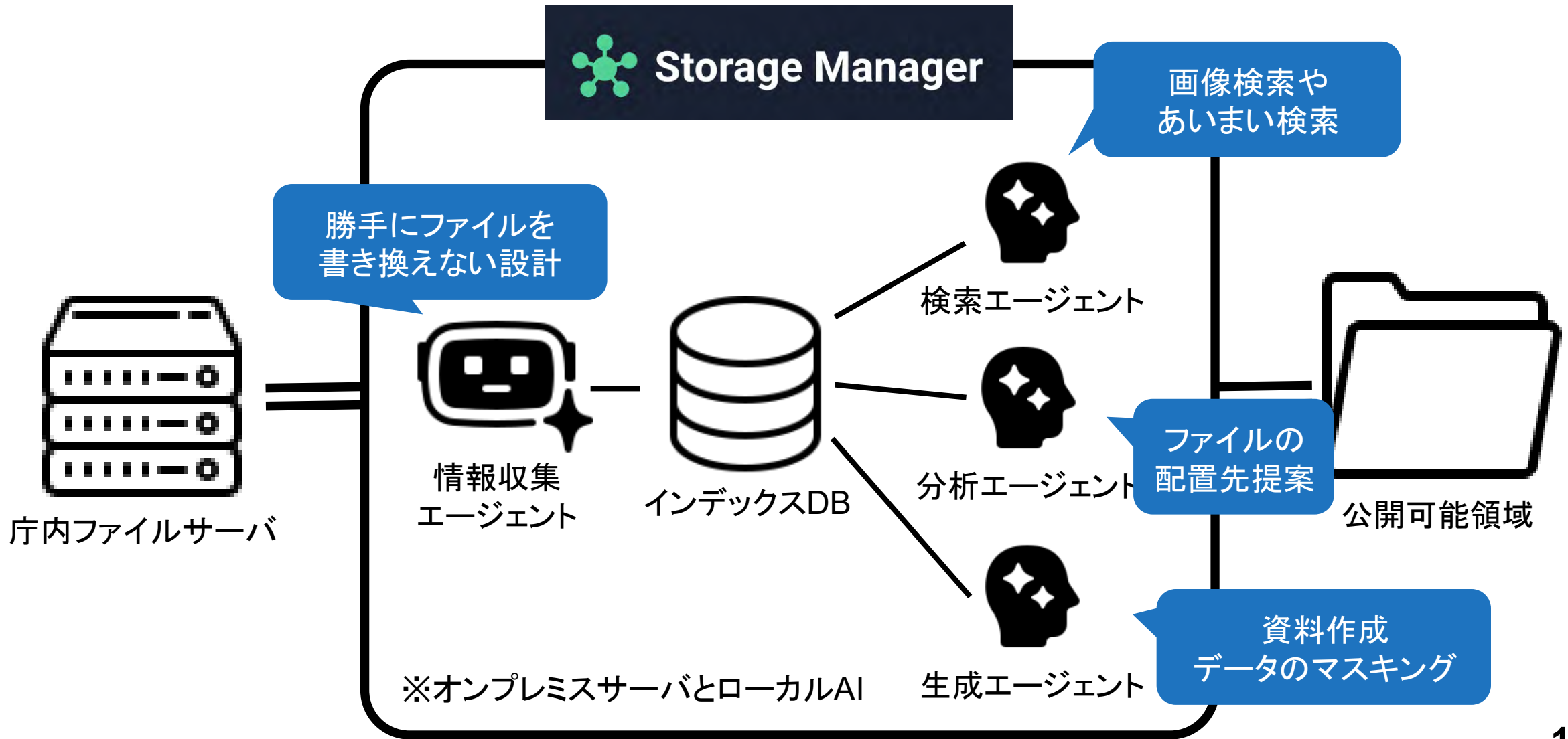
インベントリー情報の共有

「データの共有・公開は必ずしも必須ではない」とすれば、職員負担は減る？
さらに、インベントリー情報共有が自動的に行える仕組み（ルール、システム）があればよい？

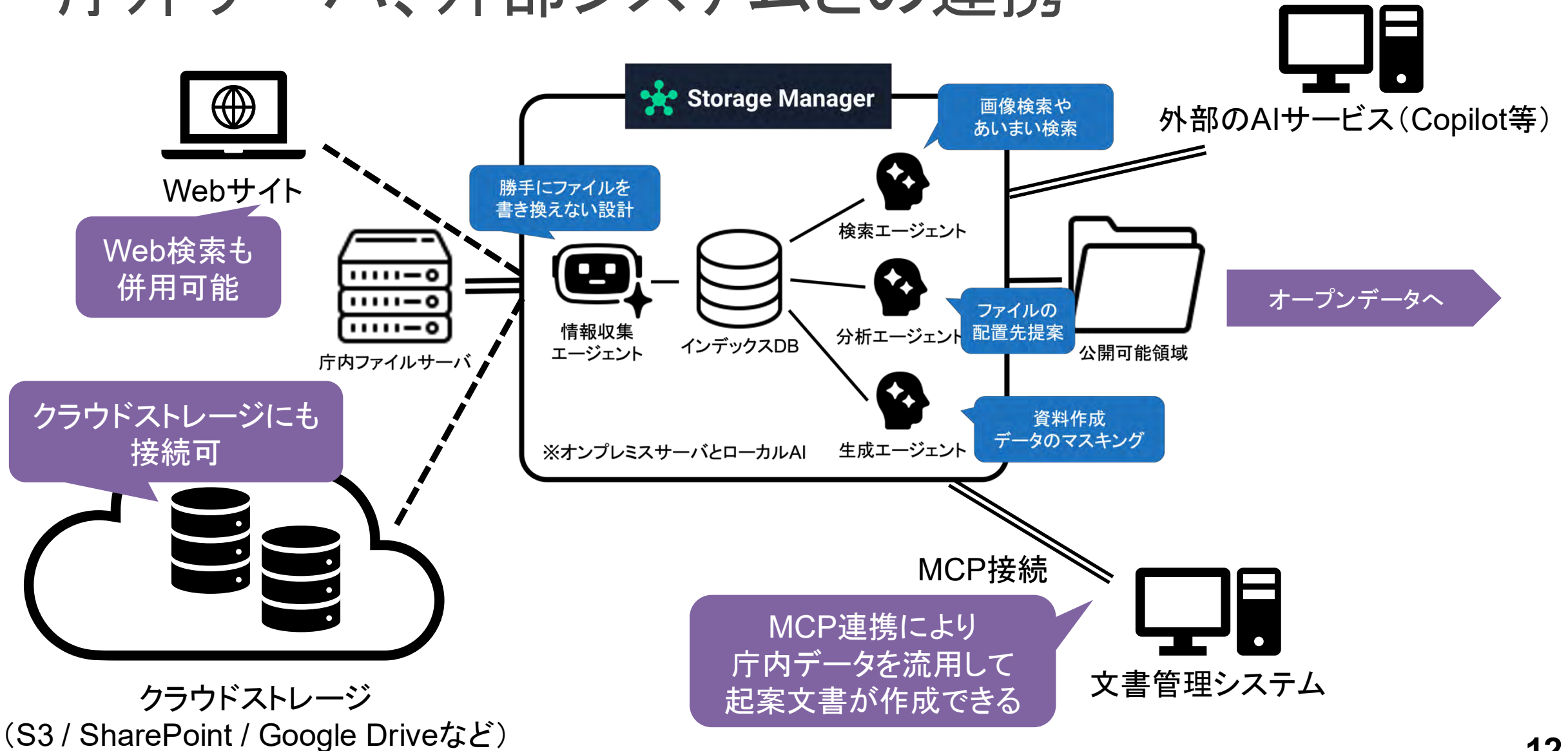
夢見るだけじゃなくて、実際に作りました

1. 庁内のファイルサーバを夜間に自動スキャンして情報を収集
2. ファイルの中身をAIエージェントが見て、何が書かれているかを分析
3. ファイルの中に個人情報が含まれている場合は検知の上、報告
4. 画像やスライドなどもAIエージェントが画像解析して説明を追記
5. ファイルの機密性をAIエージェントが自動的に分類し、提案
6. フォルダ構成から適切な保存場所をAIエージェントが推測して、提案
7. ファイルをAIエージェントで分析しやすいように整形し、出力
8. 画像ファイルのサイズを縮小して、出力
9. 収集したファイルのデータを使って、AIエージェントとの対話で文書を作成

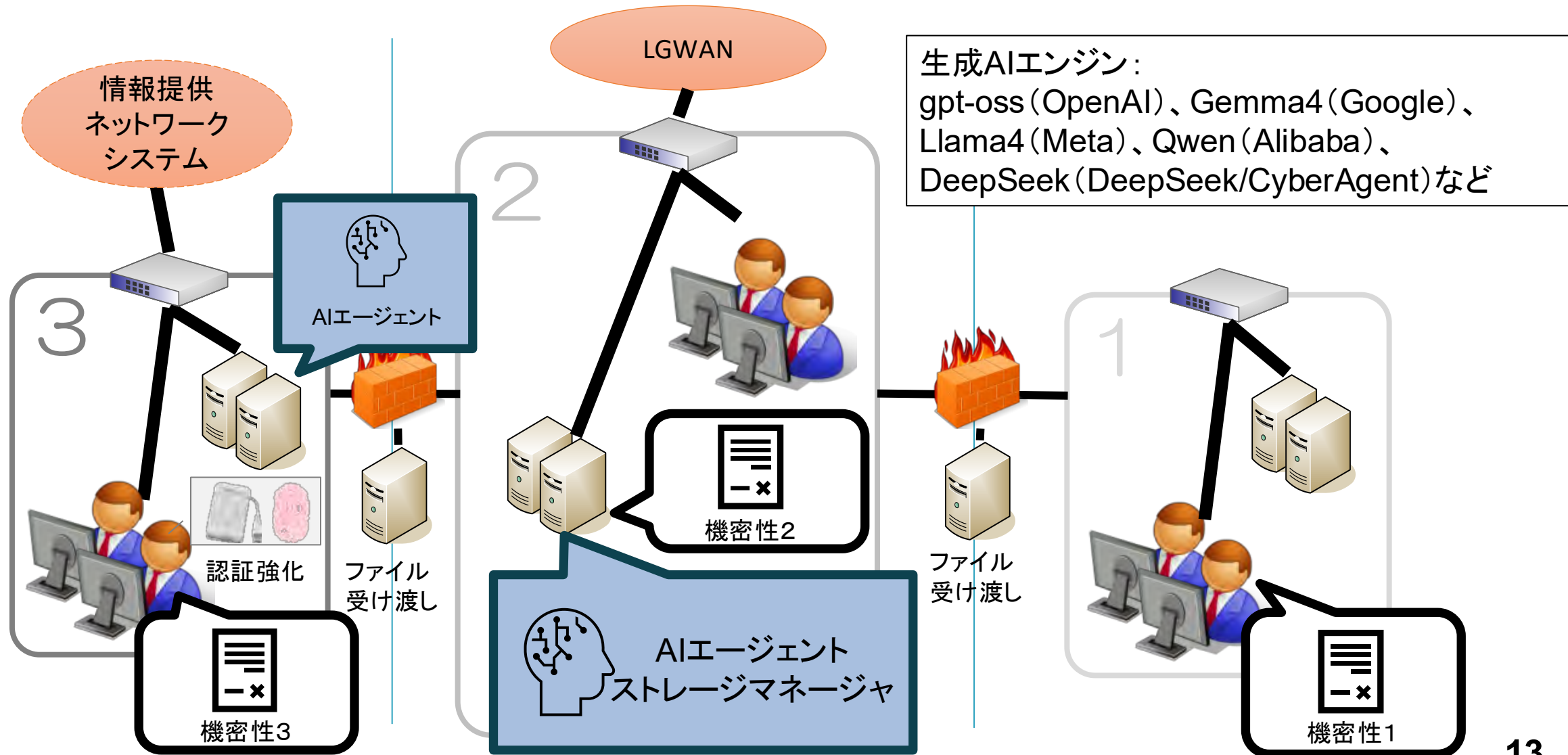
procureTech StorageManager(ストレージマネージャ)



庁外サーバ、外部システムとの連携



ローカルAIなので庁内で動かします

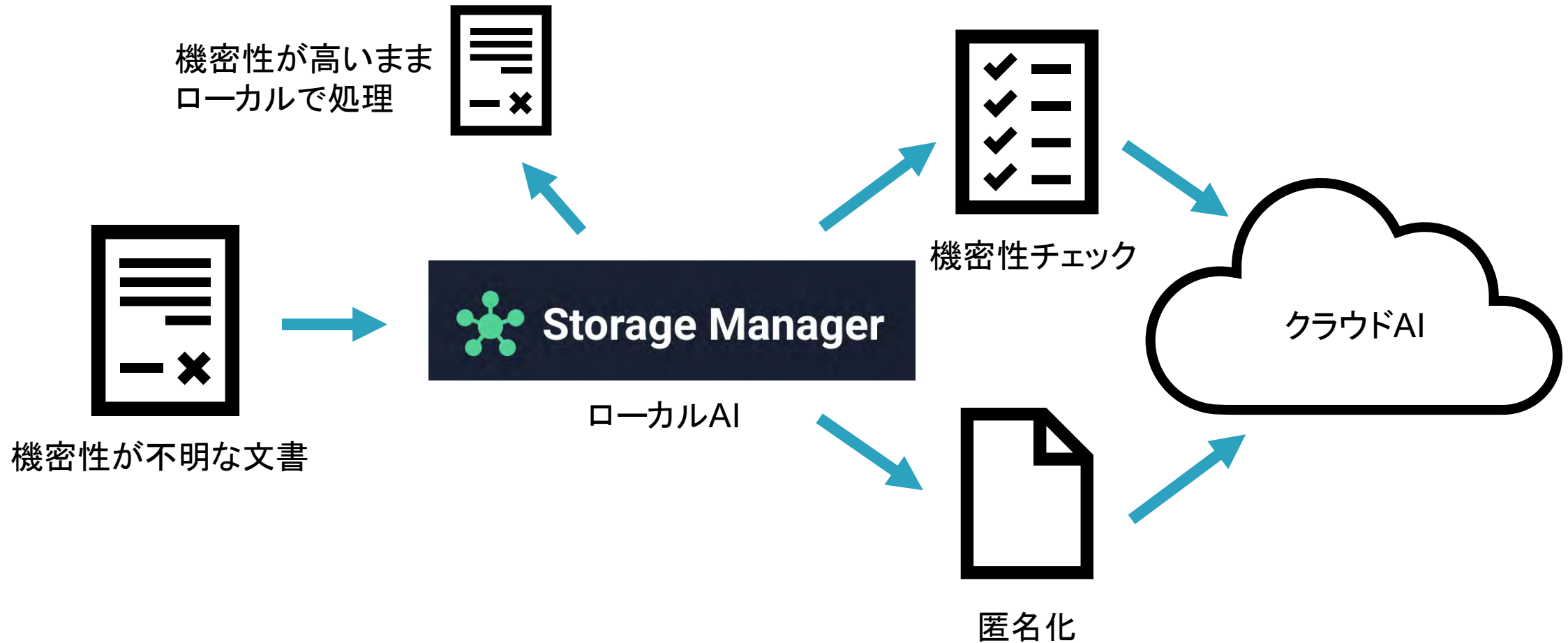




なぜ Copilot だけではダメなのか？

- 機密情報の判別のために、外部のAI(クラウドAI)を使うのは**本末転倒**
- クラウドAI上でのRAG(事前に文書登録してAIで利用する方式)は、**文書そのものが外部に永続的に保存**されてしまう。
- クラウドAIの機密性、安全性は、サービス提供事業者との約款でのみ保証されるため、**自治体が市民に対して機密性を説明することは不可能**。「安全だと言われています」としか回答できない)

ローカルAIとクラウドAIとの役割分担



安心してデータをAIに処理させる

動作イメージ

Storage Manager

storage/001

MENU

-  AI Agent
-  Explorer
-  Discussion
-  Dashboard
-  Reports

/storage/001						
[MS-CFB].pdf			1.5 MB	⋮	2018-08-22 13:18	
event_repo			20.7 KB	⋮	2019-11-25 13:38	
Gmail - あなたのパーソナル会議室.pdf				⋮	2019-03-05 03:41	
IMG_6306.jpg			586.9 KB	⋮	2021-12-16 11:07	
IMG_8369.jpg			2.3 MB	⋮	2021-10-24 20:50	
keys.tar			31.0 KB	⋮	2020-06-14 17:20	
Manual.pdf			4.5 MB	⋮	2021-04-06 15:51	
office_top_image.png			255.4 KB	⋮	2020-07-27 09:33	
			9.9 KB	⋮	2019-01-28 13:40	

機密性1と判定

機密性2と判定

ファイルがスキャンされデータ化されている

個人情報が発見されている

クズ生成後

機密性1と判定

ファイルがスキャンされ
データ化されている

機密性2と判定

個人情報が検出されている

インデックス生成後

サムネイル (6ページ)



文書全体から
機密性を推測

機密性分類

- ☐ 極秘
- ☐ 社外秘
- ☐ 社内限定
- ☐ 公開
- ☒ 未分類

AI生成情報



ページ説明 (46ページ / 3,129文字)



抽出テキスト (100,016文字)

個人情報の
有無を検知

PII (個人情報) 検出

検出なし

検出日時: 2026-01-31 14:35

判定の修正

⚠ 個人情報ありに変更

ファイル情報

サイズ: 1.5 MB

更新: 2026-01-31 14:35

ファイルの中身が
文字化されている

[MS-CFB]:
Compound File Binary File Format
Intellectual Property Rights Notice for Open Specifications Documentation
□ Technical Documentation. Microsoft publishes Open Specifications documentation ("this documentation") for protocols, file formats, data portability, computer languages, and standards support. Additionally, overview documents cover inter-protocol relationships and interactions.
□ Copyrights. This documentation is covered by Microsoft copyrights. Regardless of any other terms that are contained in the terms of use for the Microsoft website that hosts this documentation, you can make copies of it in order to develop implementations of the technologies that are described in this documentation and can distribute portions of it in your implementations that use these technologies or in your documentation as necessary to properly document the implementation. You can also distribute in your implementation, with or without modification, any schemas, IDs, or code samples that are included in the documentation. This permission also applies to any documents that are referenced in the Open Specifications documentation.
□ No Trade Secrets. Microsoft does not claim any trade secret rights in this documentation. Portions of the technologies

ドキュメント抽出

サムネイル (20ページ)



=== Slide 1 ===

正解のない時代だからこそビジョンを掲げよう 情報化推進計画から始める越谷市の挑戦
2026年5月19日 13:40～14:10
政令市・中核市・特別区CIOフォーラム in 品川

埼玉県越谷市 最高デジタル責任者（CD0）
川口 弘行

=== Slide 2 ===

本日お話すること

越谷市情報化推進計画（2026）では、従来の「やることリスト」型による計画策定の手法を大きく見直し、新たな方向性を打ち出しました。

本計画では、ビジョンの実現に向け、職員自らの発意を起点として、デジタル・アナログの手段を問わず小規模な取り組みから着手し、継続的な検証と改善のサイクルを通じて着実に前進することを目指しています。

資料の構造を分析して、
再利用しやすくしている

判定の修正

個人情報なしに変更

目次索引 (PageIndex)

2026-05-20 10:08 再生成

越谷市情報化推進計画
（2026）の背景と理
念 p.1-11

正解のない時代において、職員自らの発意
を起点としたデジタル・アナログの併用によ
る新たな計画策定手法を提唱する。

従来の「やることリスト」型計画の見直し

ビジョン実現に向けた継続的な検証サイクル

自治体DXにおけるサイエンスとアートの両面

越谷市の概要と
登壇者紹介
p.3-4

自治体DXの本
質と課題 p.5-
21

計画策定の基礎
理論と枠組み
p.12-21

長文資料解析

開催場所	本庁舎会議室6
出席者	CIO補佐官 田口弘行(合同会館 代表社員 田口弘行) 能代市 地域戦略課 岸部謙弘、佐藤晋介 情報化推進課 主任 佐藤(晋)
会議の概要 (まとめ)	市から資料の概要説明を行い、検討・考慮すべき事項について補佐官からご意見をいただいた。 1 次期能代市DX推進計画策定の進め方について ・市長が交代し、比較的若い世代の市長となったことから、DXへの関心も高いと考えられる。一度、市長の考えや方向性について意見を伺った方がよい。 ・国の自治体DX推進計画については、必ずしも各自治体の実情を十分に踏まえた内容とは言い切れない。 ・国の計画改定において、計画期間を設けない方向性については賛同できる。 ・重点取組事項がこれまでと大きく変わっていないということは、国が目指すゴールが十分に達成できていない可能性がある。国の枠組みに合わせることで大きな失敗は避けられるかもしれないが、まずは「能代市としてどのような姿を目指すのか」を明確にするべきではないか。現計画で十分に達成内容を見直しながら継続・スライドする考え方もあってよい。 ・「個別システムを導入した」という取組だけでは、市民には効果や意義が伝わりにくい。 ・計画策定や見直しに当たっては、一般職員、幹部職員、市民（パブリックコメント等）へのヒアリングを実施してはどうか。 ・計画と施策集を一本化すること自体は問題ないとの認識。ただし、一本化した場合は毎年度改定を前提とする必要があるため、見直しに係る負担は極力抑えたい。 ・（川口補佐官が関与している自治体の例として）埼玉県越谷市では令和8年度から新たな計画を策定しているが、計画と施策集を別立てとしている。計画本体には計画の進め方を記載し、施策集は毎年度の予算と連動させている（DXといっても実際のところは「買い物」である）。 ・予算が付かなかった場合は、自治体として資源配分がされなかったということであり、その際には代替手段（例：マニュアル整備等）を進めたことを進捗として記録する。 ・施策の評価については、自分たちでコントロールできる指標と、コントロールできない指標を分けて整理した方がよい。

1 次期能代市DX推進計画策定の進め方について

- ・市長が交代し、比較的若い世代の市長となったことから、DXへの関心も高いと考えられる。一度、市長の考えや方向性について意見を伺った方がよい。
- ・国の自治体DX推進計画については、必ずしも各自治体の実情を十分に踏まえた内容とは言い切れない。
- ・国の計画改定において、計画期間を設けない方向性については賛同できる。
- ・重点取組事項がこれまでと大きく変わっていないということは、国が目指すゴールが十分に達成できていない可能性がある。国の枠組みに合わせることで大きな失敗は避けられるかもしれないが、まずは「能代市としてどのような姿を目指すのか」を明確にするべきではないか。現計画で十分に達成内容を見直しながら継続・スライドする考え方もあってよい。
- ・「個別システムを導入した」という取組だけでは、市民には効果や意義が伝わりにくい。
- ・計画策定や見直しに当たっては、一般職員、幹部職員、市民（パブリックコメント等）へのヒアリングを実施してはどうか。
- ・計画と施策集を一本化すること自体は問題ないとの認識。ただし、一本化した場合は毎年度改定を前提とする必要があるため、見直しに係る負担は極力抑えたい。
- ・（川口補佐官が関与している自治体の例として）埼玉県越谷市では令和8年度から新たな計画を策定しているが、計画と施策集を別立てとしている。計画本体には計画の進め方を記載し、施策集は毎年度の予算と連動させている（DXといっても実際のところは「買い物」である）。
- ・予算が付かなかった場合は、自治体として資源配分がされなかったということであり、その際には代替手段（例：マニュアル整備等）を進めたことを進捗として記録する。
- ・施策の評価については、自分たちでコントロールできる指標と、コントロールできない指標を分けて整理した方がよい。

議事録は論点を構造化し、
対立軸や発言スタンスを可視化

議事録解析

議事録構造

2026-05-19 14:48 再生成

CIO 補佐官への相談（次期能代市 DX 推進
計画策定・リーダー育成）

日付: 2026-05-18

参加者: 川口弘行, 岸部, 佐藤晋介

議題 (2件)

次期能代市 DX 推進計
画の策定方針と進め方

市長交代に伴う DX への関心の高まりを踏まえ、国の枠組みをどう活用し、能代市独自の目標を明確にするかについて議論が行われた。計画期間の扱いや市民へのヒアリングの必要性も議題となった。

決定事項

- ・国の計画改定において計画期間を設けない方向性に賛同する。
- ・計画と施策集を一本化すること自体は問題ないと認識するが、毎年度改定を前提とする必要がある。
- ・まずは小規模なトライアル（スモールスタート）を行い、早い段階で評価を実施する方針を模索する。

アクション

- ・市長の考えや方向性について意見を伺う。



AIによって写真の内容が
文章で説明されている

画像の内容もわかる

機密性分類

- ☐ 極秘
- ☐ 社外秘
- ☐ 社内限定
- ☐ 公開
- ☒ 未分類

AI生成情報



画像説明 (134文字) ^

これは写真で、幼い女の子が「魔女の宅急便」のキキに扮している様子が写っています。

紺色のワンピースと赤いリボン、黄色いバッグが特徴的で、コスプレをしていることがわかります。女の子は笑顔でカメラに向かっており、可愛らしい印象です。背景には扇風機や段ボール箱が見えます。

ファイル情報

サイズ: 2.3 MB

更新: 2021-10-24 20:50

ハッシュ: 0e7899fd995b3859...



他にも...

- 音声や動画の文字起こしもできる。
- メールサーバと連携して、所属メールのやり取りも一元管理できる。

活用方法 AIエージェントによる 文書作成

庁内情報を元に生成AIの利活用ができれば...

多くの自治体が試みているが、十分な品質が得られていない

- そもそもRAGは「時系列」という概念を持たない
 - 多くのデータ(ファイル)は生成AIとの親和性が低い(AIが読み取れない)
 - (言いたくないけど)ゴミをいくらかき集めても「ゴミ」しか出てこない
- 正しい情報だけが欲しいのならば、データの前処理が必要

Storage Manager

storage/001

 kawaguchi

MENU

 AI Agent

 Explorer

 Discussion

 Dashboard

 Reports

 Upload

川口弘行につ...

+

 OPENCODE

 SHELL

OpenCode:  Running Shell:  Running

改めて、川口弘行のプロフィールを作成して

 Agent

川口弘行 (Kawaguchi Hiroyuki) プロフィール

項目	内容	主な出典
氏名	川口 弘行 (Kawaguchi Hiroyuki)	①「川口弘行合同会社」資料
連絡先	E-mail: hiro@kawaguchi.com	②サニタイザーライセンス証書
代表会社	川口弘行合同会社 (Kawaguchi Hiroyuki LLC)	②サニタイザーライセンス証書
研究所・ブランド	Hiro KAWAGUCHI Laboratory	②サニタイザーライセンス証書
主な事業領域	・プロキュアテック：AI 推論型自治体向け IT 調達支援サービス ・サニタイザー：ファイル無害化（データサニタイズ）セキュリティ製品	⑤プロキュアテック説明資料・⑧未来の自治体を図示してみる
学歴・資格	・博士（工学） ・技術経営修士（専門職） ・公認情報システム監査人（CISA）	⑧未来の自治体を図示してみる
	1996年5月：行政書士登録 2009年4月：高知県庁 専門企画員（CIO補佐官） 2012年4月：港区情報政策監（現職）	

| エージェントに指示を入力...



生成系エージェントでできること

- 庁内ファイルを元に、新たな文書（**報告書、議事録、議会答弁案など**）を生成できる。
- 庁内ファイルを元に、PowerPointの**スライドを生成**できる。
- 庁内ファイルを元に、**ワークフロー図（BPMN）を生成**できる。
- 庁内ファイルを元に、**調達仕様書を生成**できる（準備中）。

さらなる将来の活用
業務マニュアル作成に
生成AIを使う

自治体職員は偉大なる「素人集団」

- ・「デジタル技術」はどのレベルに含まれますか？

③所属部署特有のスキル

関係法令、業務知識、業界動向、市民の状況の把握

その専門性から所属部署が訓練を担うしかない。訓練カリキュラムも未整備なため、最終的には職員自らの学ぶ能力を駆使した自己研鑽になる。

②公務員としてのスキル

契約・支払事務、起案・決裁、予算事務、議会对応
補助金事務、委託管理など

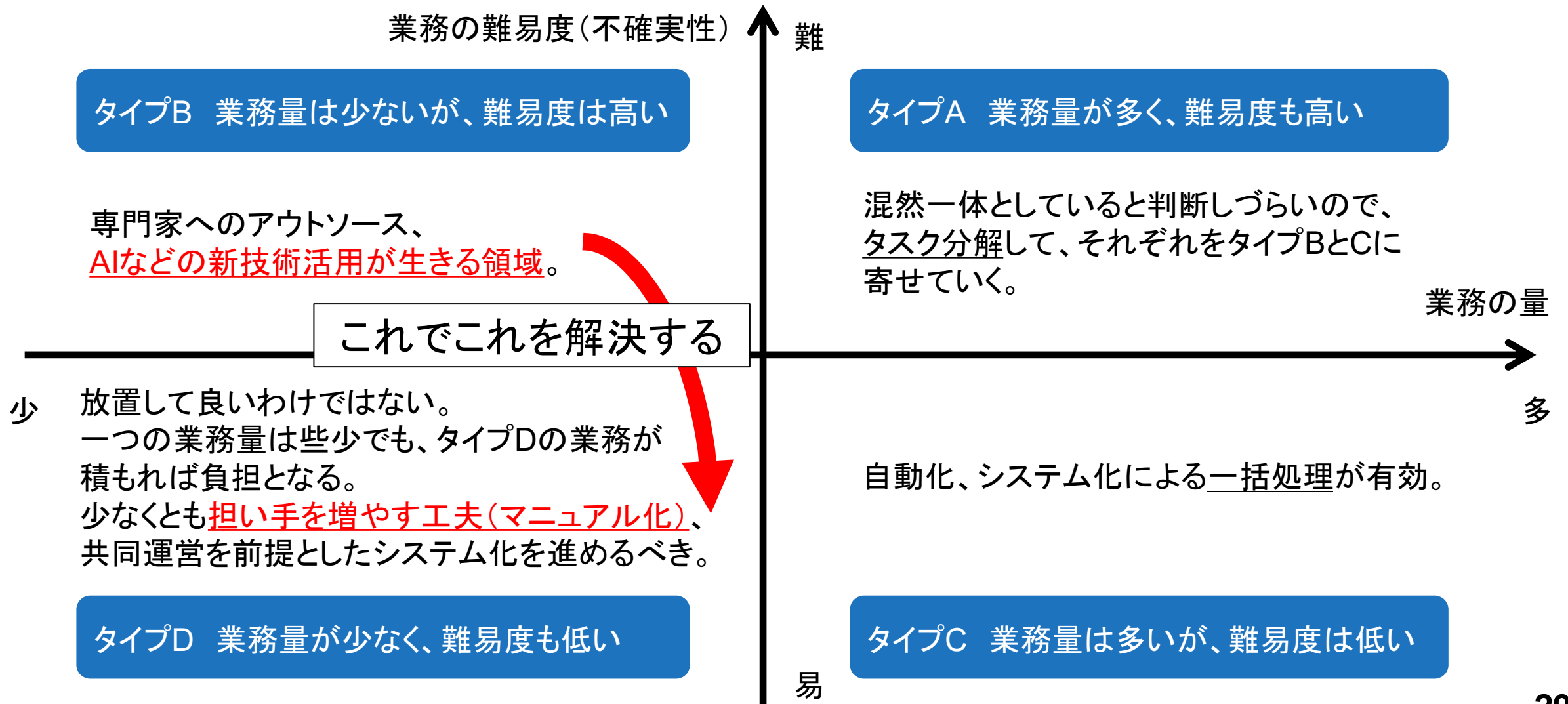
組織で一定の品質を確保するために、自治体で訓練カリキュラムを設け確実に（効果測定を経て）スキルを会得させるべき。

①ビジネスパーソンとしてのスキル

ビジネス日本語、ビジネス文書作成、対人折衝
会議運営・議事録作成、プロジェクト管理、合意形成

公務員を辞めても使えるスキル。と言っても、実はこれまでまともな訓練を受けたことがない。OJTで得られるスキルではない。

業務の量と業務の難易度(不確実性)による分類



暗黙知と形式知

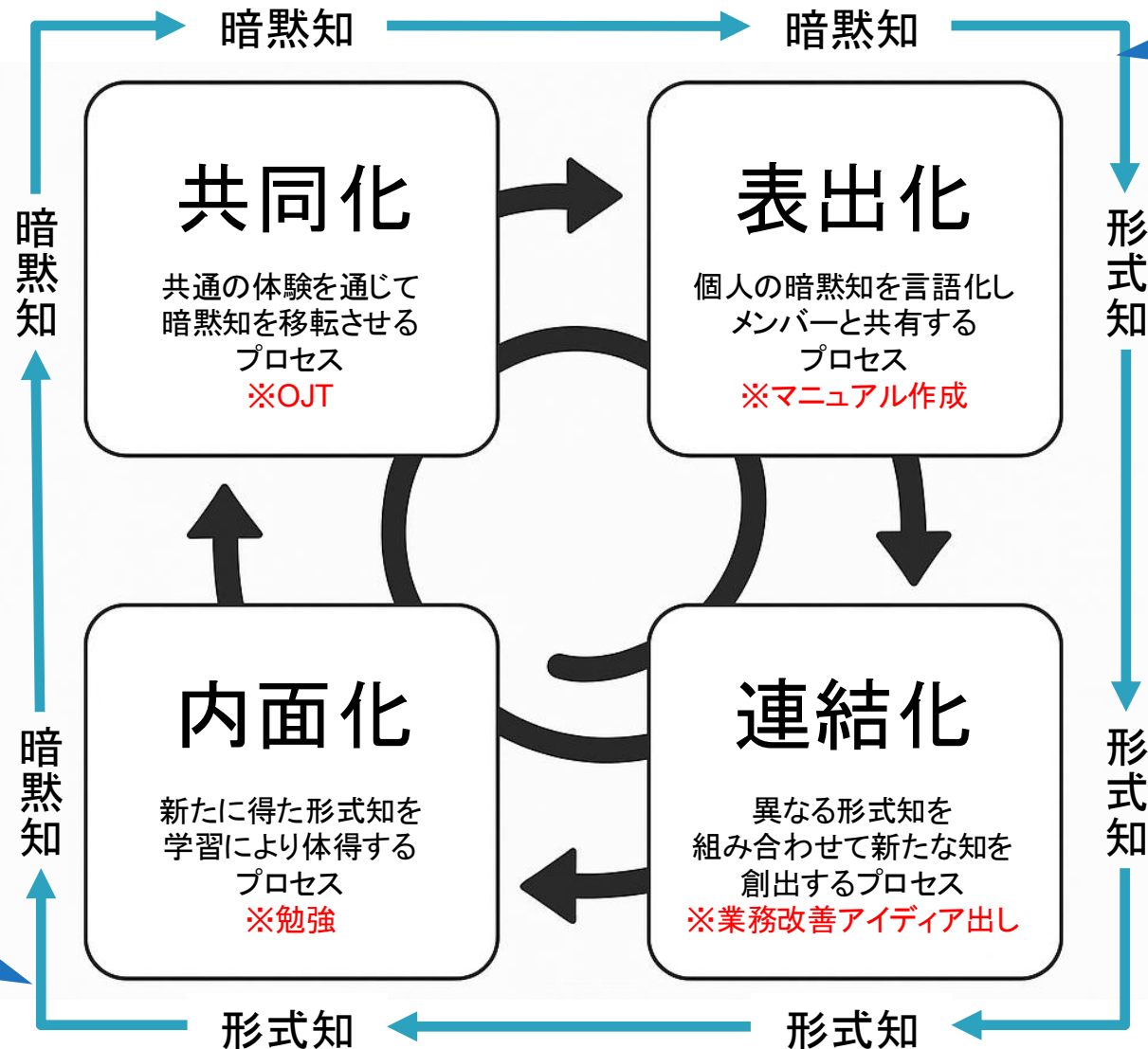
- 暗黙知

- 個人の経験や勘などに基づいた、他人に説明することが難しい、あるいは説明するには時間や別の知識などを有する知識のこと。
- 一般的に職人技や職人氣質の方が持つ知識のこととイメージされやすいが、交渉上手な営業マンや社内調整が得意な業務担当者、センスの光るデザイナーなど、職種関係なく優秀な人材は何かしら結果を出すための暗黙知を持っていると言われている。

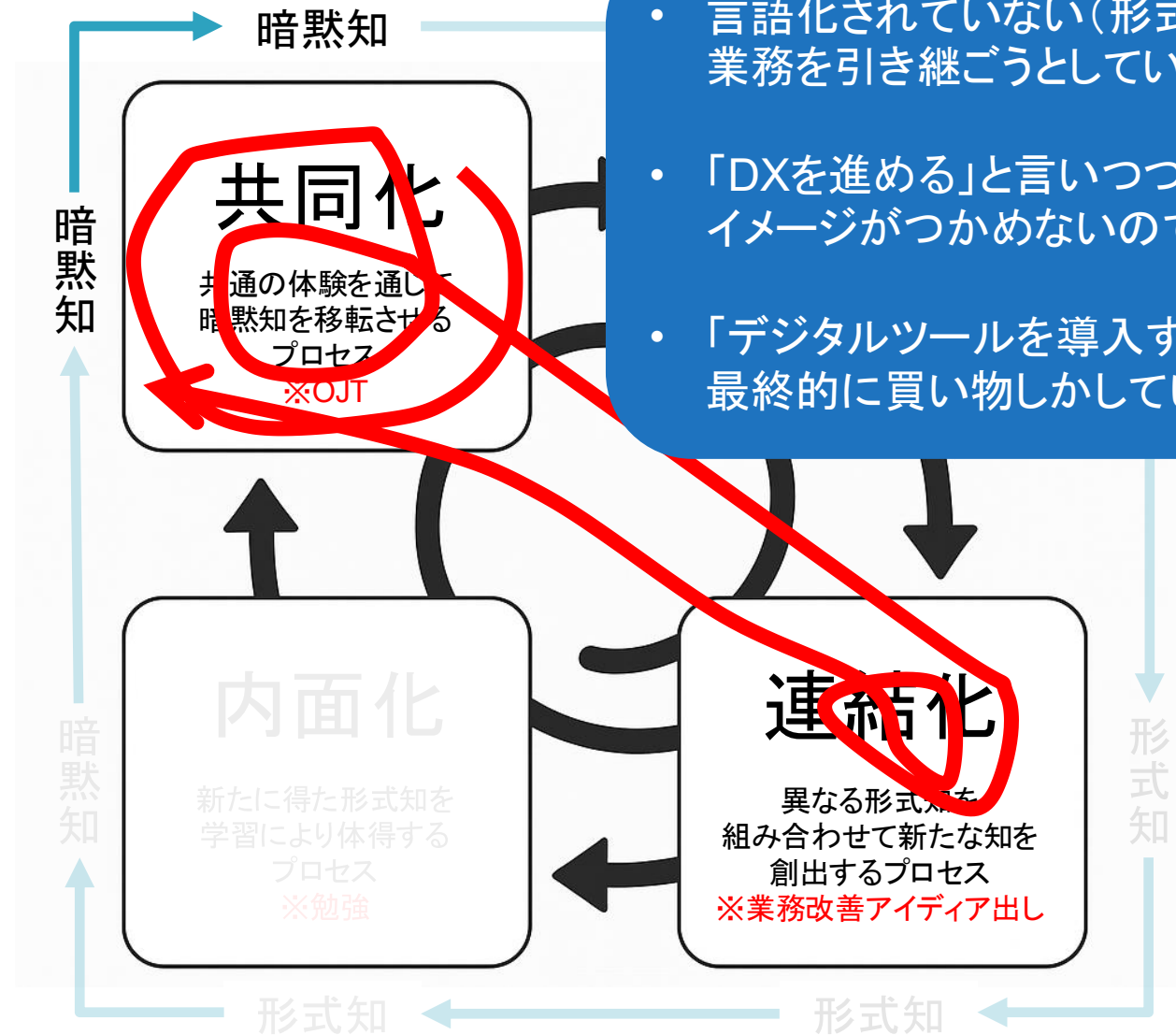
- 形式知

- 形式知とは、文章や図解、数値などによって、誰が見ても理解できるような形式で表現された客観的な知識のこと。
- 一般的に広く利用されている「マニュアル」や「説明書」などの類は、この形式知に該当する。

SECIモデル(野中、竹内)



現在の自治体の状況



- 言語化されていない（形式知化されていない）状態で、業務を引き継ごうとしている。
- 「DXを進める」と言いつつも、何をどうすればいいのかわからないので、形式的な取り組みになる。
- 「デジタルツールを導入すれば解決」になるので、最終的に買い物しかしていない。

業務マニュアルを人間・AIともに読める状態に

- エージェントスキル

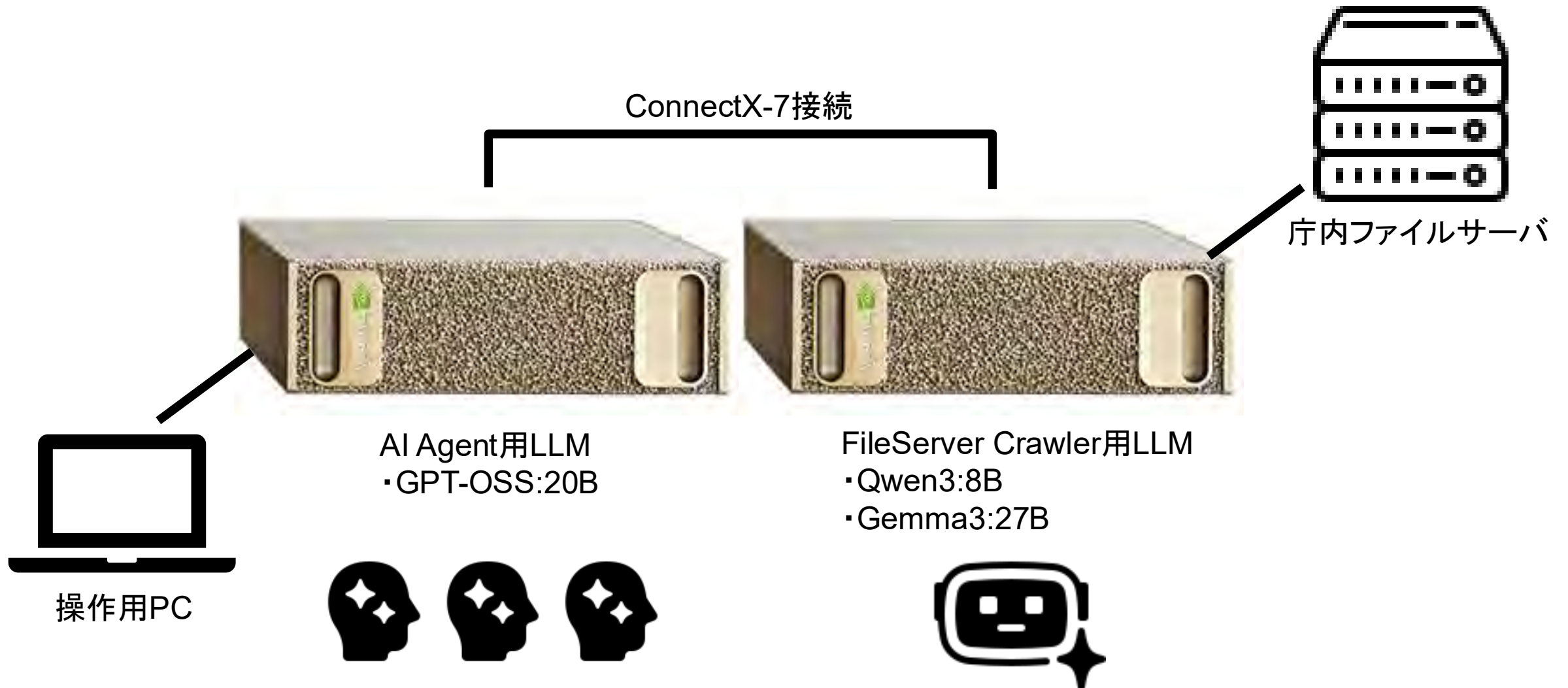
- 下記のような構成で文書を作成しておくと、AIエージェントも読める状態となる。

```
<skill-name>/          # スキル名 (例: pdf-parser, document-generator)
├ SKILL.md              # 必須: スキルの定義、設定、指示 (後述する所定の形式)
├ scripts/              # 任意: タスクを実行するスクリプト (プログラムコード)
├ references/           # 任意: 参照ドキュメント
├ examples/             # 任意: 実行例
└ assets/               # 任意: テンプレート、データ
```

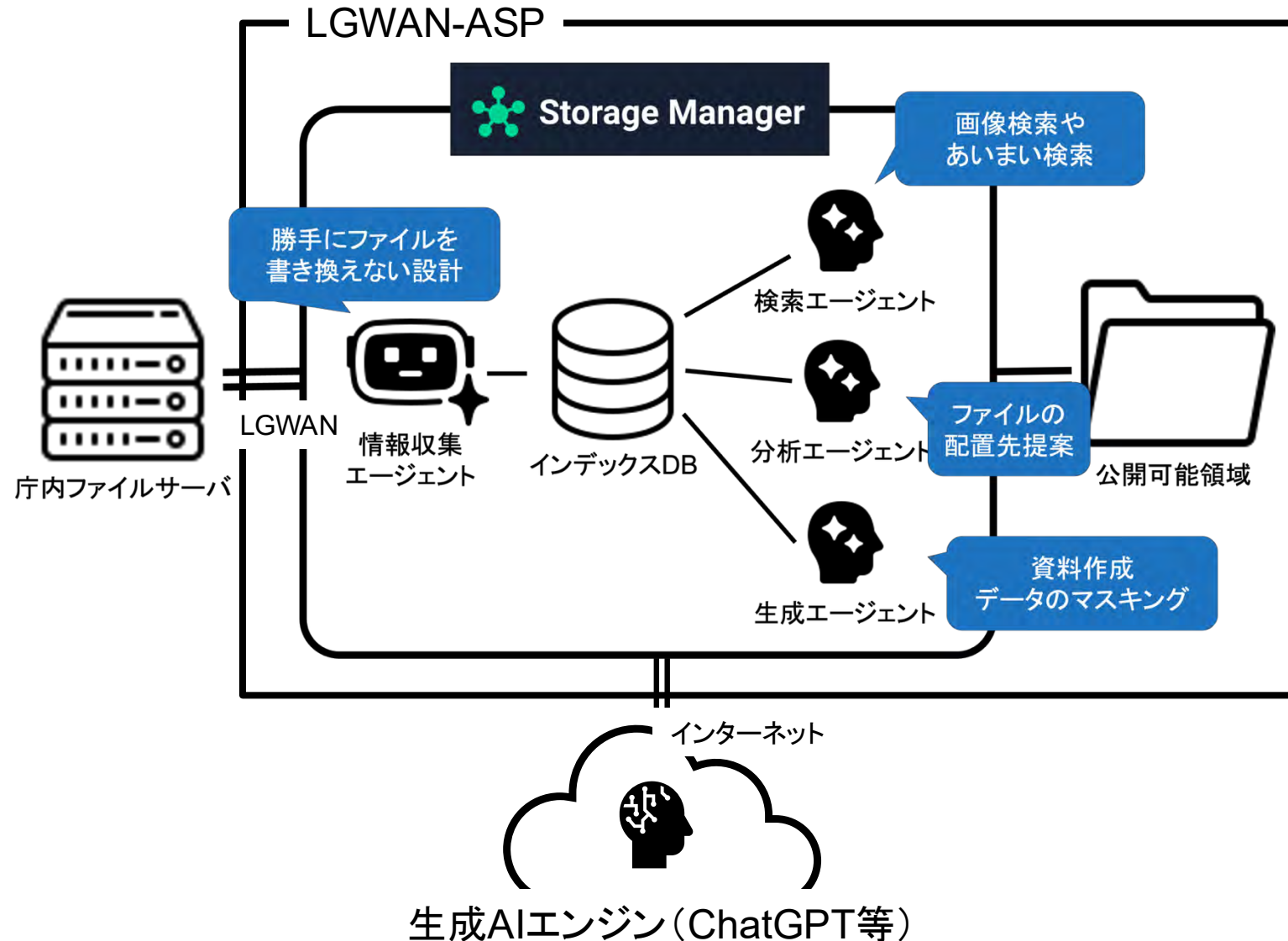
エージェントスキルの作成もAIに任せることができる

稼働環境

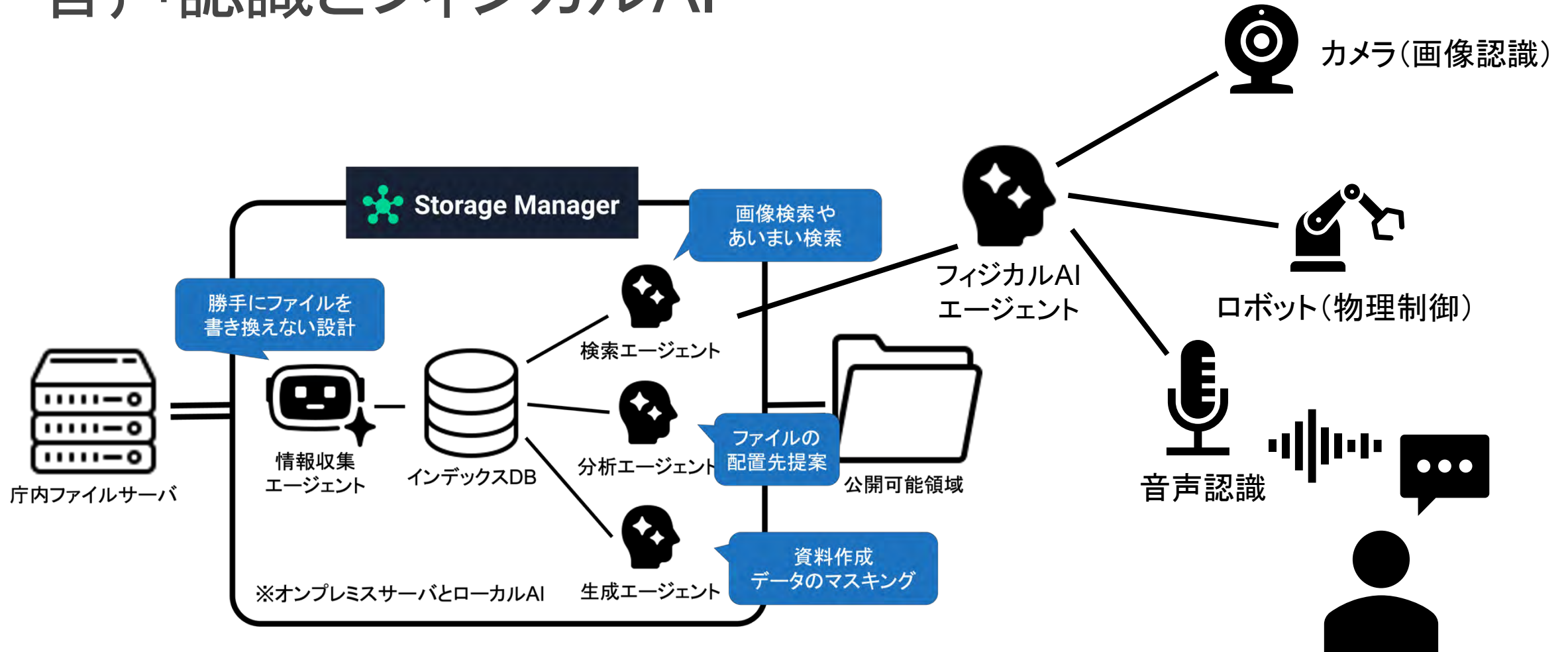
DGX Spark (NVIDIA) 2台構成



クラウド上でもLGWAN-ASPとしても運用可能



音声認識とフィジカルAI



Thank you